

有限会社スマート・ラムズ

「インターネットで気軽に注文できるレーザー加工機によるオンリーワンアイテム作成サービス」

スマート・ラムズは、カップスリーブなどの革製品にオリジナルの文字やデザインをレーザー刻印する事業を立ち上げた。発注はすべてインターネット上で完結でき、完成時のビジュアルも確認できる。同社は従来、ソフトウェア開発を手がけ、ネットショップのシステムを構築した実績もある。IT技術とモノづくりを融合し、新事業へ参入。同時にシステムの運営者となり、運営者側の視点を本業であるソフトウェア開発にも活用していく考えだ。

会社概況

「理研の仕事も手がける」

東 京で黎明（れいめい）期の電子商取引サイト構築など手がけた岡本順子社長が、ふるさと岡山県倉敷市への転居を機に創業した。当初は個人事業主としてプログラム作成などの仕事を手がけ、徐々に仕事量が増えたため2005年に法人化した。

「常に新たな開発言語の研究を怠らない」（岡本順子社長）という方針のもと、手がける仕事は多岐にわたる。データベースの構築をはじめ、スマートフォン向けアプリの開発、クラウドシステムの提供、生産管理システムなどの個別プロジェクト。中には理化学研究所の大型放射光施設「Spring（スプリング）-8」でのネットワーク関連といった仕事も実績として残している。



ITを活用したオンリーワンアイテム製品

ものづくり補助金事業内容

「縫製産業で栄えた町」

今 回のものづくり補助金申請事業につながる仕事として、東京・浅草の祭り用品店のWebショップのシステム構築がある。このWebショップでは職人さんが書く木製名札を発注できる。しかも札の大きさからデザイン、文字パターンまで選べ、スマートフォンなどの画面で本物同様のビジュアルを確認し、最終的に注文を確定する。

同社が本社を構える岡山県倉敷市の児島地区は縫製産業の生産拠点として栄えた街。岡本社長はIT企業を創業したが「いつか、ものづくりにも携わりたいとの気持ちを持っていた」という。そこで今回のものづくり補助金事業であるレーザー加工機を使ったオンリーワンアイテムの作成サービスで、製造業にも踏み出すことになった。



レーザー加工機で文字や画像を刻印

事業成果

「ハリネズミのデザイン採用」

2 017年6月に専用のサイトを立ち上げ、受注を開始した。革製品のメモカバーやカップスリーブ、デニム生地のパソコンスリーブなどにオリジナルの文字や画像などを選択、レーザー加工機で刻印する。発注からデザインの選定まで一連の作業はネット上で完結する。2018年8月からはハリネズミのデザインを採用入れた。インスタグラムなど「SNSを一層活用するため」（同）だ。

現在のところ、企業からノベルティとして大量に発注がくることもあり、会社の収益に貢献する事業になった。今後もソフトウェアの受託開発を主事業とする点は変わらない。オンリーワンアイテム作成サービスで得たシステム運営者としての知見を今後の顧客への提案力強化などにつなげていく方針だ。



ノベルティグッズとして受注も多い

代表インタビュー



代表取締役
おかもと じゅんこ
岡本 順子さん

「運営する側の視点が大切」

ー倉敷市で起業したきっかけを教えてください。
「東京に在住していた1998年頃はエンジニアが不足していた。あるソフトウェア会社で教育を受け、当時、黎明（れいめい）期だったEコマースの構築などに携わった。その後、生まれ故郷の倉敷市に戻り、2005年に会社を設立した。ソフトウェアの業界は変化が大変早いので、常に勉強し、先端の技術を習得している」
ーシステム構築などを受託する側でしたが、今回の事業は使う側になります。

「システムを運営する側の視点をエンジニアが持つことは非常に大切だと思う。この事業も2017年6月に受注サイトを立ち上げ、SEO対策だけやったが思ったほどページビューが伸びなかった。訴求対象と購入者のミスマッチが起きていたようだ」

ー8月から始めたハリネズミのデザインが人気のようです。

「東京・渋谷でハリネズミと触れあえる動物カフェを共同経営している。20席の店内はハリネズミに触れることもでき、インスタ映えするカフェとして非常に盛況だ。フォロワーの増加など知名度向上につなげたい」

事業者概要

代表者名 岡本 順子
設立年 2005年
資本金 1,000万円
従業員数 6人
売上高 非公表

所在地 岡山県倉敷市児島下の町5の6の34
TEL 086・470・5888
FAX 086・470・5888
URL <http://www.smartrams.co.jp>
業種 ソフトウェア開発、ITコンサルティングなど